

秋の奈良
バスツアー

古都に思い馳せて

淡路支部ニュース

2009.11.25
No. 253

兵庫県保険医協会
淡路支部
〒656-0601 洲本市物部三丁目44
松本医院内
☎079-912-1007 三



平城京跡の朱雀門を背景に記念撮影

Let's...

私は元来ラジオ
党。新聞は大文字だ
けの拾い読み、時々
飛ばし読み、TVは
ニュースと天気予
報と日曜朝の時事
放談と夕の笑点と
漫画サザエさんだ
けであった、最近火・木を休診
にした関係からだろうか。朝は
七時から二〜三時間六チャンネ
ル、夕五時頃一時間くらい四
チャンネル。食事をとりながら
見るようになった。そしてコ
マーシャルタイムは新聞を読む
ようになった。新聞は洲本に來
て以来のご縁でサンケイのみ。
そこでいわゆるマスコミに対
する私見を述べてみることにし
ました。第一はコマーシャル。種
類の多いこと。割かれる時間の
長いこと。NHKも自家番組の
紹介はコマーシャルと言ってい
いだらう。さらにストーリーが
いつの間にかコマーシャルに移

行しているという巧みな技?も
ある。だから私も最近コマー
シャル出現と同時に他の仕事を
するように心掛けるルールを發
見したのである。

加えて推理小説のドラマ化し
たもの。市橋・女子大生切斷
等々、猟奇事件の多いこと。時
には国政・外交等の報道を抑え
てトップを占めていることさえ
あった。私はマスコミが犯罪の
手口・方法を教える結果になら
ないかと危惧する。そんな方法
があったのか!と。

さらにインターネットなるも
のは複雑怪奇と言わざるを得な
い。悪知恵は常に一段先を行く
のは歴史的事実でもあるようだ
が…。そのなかで「仕分け」が
一般公開であったこと、天皇陛
下即位二十周年の諸報道、特に
紙上の報道。おばあさん役の
「きょうはどんな手口」と振込詐
欺風刺AC広告は一服の清涼
剤?

【松本記】

奈良バスツアー 感想文

大和路を歩く

南あわじ市・歯科 成島 郁

淡路支部は十一月三日、秋の奈良バスツアーを開催。医師、歯科医師、医療機関職員ら十五人が参加した。参加者の感想文を紹介する。



道で出会った鹿とふれあう

十月三日、文化の日、淡路支部における奈良へのバスツアーに参加させていただきました。猿沢の池、奈良まちを歩きました。昼食場所である若草山へとバスが向かおうとした

時、東大寺駐車場が満車となりバスが停滞してしまいました。バスガイドさんたちの判断で若草山まで歩くこととなり、思いがけなく、紅葉しかかった樹木の下、森林浴を楽しむことができました。

次に、平城京跡に再建された朱雀門の説明を受け、法相宗の本山である薬師寺へ向かい、車の渋滞にかかりながら着いたのが閉館三十分前近くになりました。小走りで玄奘三蔵院における平山郁夫さんによって描かれた大壁画へたどり着き、三蔵法師のたどられた山々や砂漠の

絵に思いを馳せ、境内を同行者の皆様と仏像にお賽銭を入れたり、手を合わせたりと歩きました。

奈良には鎌倉時代の仏像も多く、神奈川県鎌倉市にも長谷寺、大仏等があり、鎌倉の大仏は阿弥陀如来の大仏で野武士を思わせます。

十六夜ほどの美しい月に見送られながらの帰路でした。同行者の中で唯一人の子どもは、疲れたのでしよう、母親に寄り添いウトリウトリ。パールブリッジ(明石海峡大橋)のネオンの中、運転手、ガイドさん、協会事務局のお世話の下、無事淡路島へと着き、同行者の皆さまはお土産を手に解散してゆきました。独身で診療なさっている女性の先生方、女性一人でも参加いたしましたしやう。

会員投稿

(人生のキーワード)

「これでいいのだ」

そして「笑って許して！」

洲本市・歯科 藤原 知

その昔、ニュージューラ
ンドに一年間滞留。雨の
坂道でスリップして駅舎
に激突。右鎖骨骨折、右踵
骨粉碎。オークランド大
学病院に入院。一カ月後、
松葉杖歩行で退院。

め、運命の定めと観念す
る。諦念する。
とところで、運命として生
きてきた人生も、運命的な
他者との関係性あってこそ
である。意識するかどうか
は別として、周りのみんな
のお世話になり迷惑をかけ
てきたことは疑いない。
その昔私が、たかが“講
師”に昇進することによつ
て一人の男が泣いた。せつ
かくのカナダ留学を打ち
切って急ぎよ帰国して、昇

進人事に備えたというの
だ。
その昔、私がある女性と
ちよつと仲良くしているの
を苦にして、“首吊り”自
殺をした男がいた。ほんと
にそうであったのか、私に
は真偽のほどは分からない
が。
何にしても、生きている
ことは他人に迷惑をかける
こと。“どうすりやいい
の、この心”である。
ここで「笑って許し
て！」(和田アキ子)と言っ
てしまえば噴飯ものか。心
で泣いているのだから許し
てほしい。
そんな次第で、私の遍路
道に立つ道標には、「これ
でいいのだ」「笑って許し
て！」のフレーズが刻まれ
ている。

投稿を募集しています!!

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。地域色豊かな話題を淡路の会員の先生方で交流したいと思います。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。

【FAX】 078-393-1802

【E-mail】 kusunoki@doc-net.or.jp

淡路支部担当 楠 まで



評議員会参加記

世代交代を実感

洲本市 松本 敬明 (評議員)

協会は十一月十五日に、第七十六回評議員会および臨時(決算)総会、第三十二回共済制度委員会を開催した。松本敬明評議員の参加記を紹介する。

今回の評議員会も、ジंकス通り前日までと一変しての好天気。また、事務局諸君諸嬢の笑顔で迎えられ、前から二列目中央の私の指定席?へ座ったまではジंकス通りであった。その頃から今回は、いろいろ異変が…。

まず、持参のパンを昼食としてかじっているところへ、池内理事長が来られ、「こ熱弁は何いたいんですが、今日の発言は二分三十秒で願います」…。これはすぐに解明! 受付でいただいた評議員発言通告集で、いつもの倍近い十六人。さらに従来と異なり、マイクの調整不備? ただし議事は日程通り定刻に落合副議長の開会。池内理事長の挨拶で始まり、

前半期会務報告。後半期の課題から予算関係そして評議員の質疑応答。討論の後、決議案の採決そしてその後の臨時(決算)総会はなんとか予定の時間通り(内容は別途「兵庫保険医新聞」の記事をご覧ください)。

さて、ここで重ねて申し上げたいのは、評議員の発言! 人数もさることながら、半ば以上が若い新人の先生方であったことであり、ここでも世代交代を痛感した。私は時間の短縮で一部変更。淡路支部の特色について発言した。併せて淡路での移動理事会を要望した。そして皆様の発言より申し上げたいことがあるが、三根議長に申し上げておきま

すと結んだ。これは最後の追加発言は?に對しても時間を考慮して飲み込んだ次第であった。そしてお話しする先生がおられなかったのは寂しく残念であった。最後に申し上げたかった追加内容とは…。

日程の中でも時間外(開催前の昼食時間の活用など)あるいは講演の時間短縮により、役員・評議員の親睦、相互理解に資する(昔はそうであった)。県下ほとんどの地区の先生方のお顔を存じあげており、気楽にお話した。もう一つは、若い役員・評議員の先生方に協会誕生の経緯を勉強していただきたいということでした。